

平成23年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞団体の取組概要

【農林水産大臣賞】

～ひと、もの、景観、一本の橋がつないだ全員参加のむらづくり～

受賞団体：たのせふるさとづくり会（福島県南会津町）
みなみあいづまち

◆むらづくりの背景・経緯

たのせ集落では過疎化・高齢化が進行する中、度重なる水害で集落の土地が荒廃していくなど、住民が集落の存続に不安を抱えていた。

しかし、住民の強い団結力により、故郷（ふるさと）橋の建設を契機として集落基盤の整備に取り組み、荒れた農地や里山を回復させていった。

様々な事業を活用して効率的にむらづくりを進めるために、平成18年に「たのせふるさとづくり会」を設立し、集落の活性化には地域を越えた交流が必要との認識に立ち、各種組織と協力しながらむらづくりを推進してきた。

平成19年には、たのせふるさと公園を整備し、この公園を活動拠点として、直売所の開設やふるさとまつり等の開催を行っている。

◆むらづくりの内容

○農業生産面

たのせふるさと公園を会場に7～11月の土日、祝日に直売所を開設しており、農業所得の向上につながっている。品揃え強化のため、共同で野菜、ナメコ、シイタケ等の栽培に取り組むとともに、近隣集落で生産される農産物や農産加工品等を集めて販売し、周辺集落の農業所得の向上にもつながっている。

平成22年には、公園内に農産物加工施設を建設し、地域資源を活かした新たな加工品づくりを行うなど、6次産業化に向けた取組も進めている。

○生活・環境整備面

地域資源を活かして都市住民との交流を進めており、芝浦工業大学等との連携による里山の再生活動や各種イベントの開催、首都圏の子どもたちを対象とした農村体験学習や農家民泊の実施等により、年間交流人口は5,500人を超えている。



ふるさと公園を会場にした直売所



農業体験の様子